

■「横浜型地域貢献企業」に認定

有限会社一建テックは平成28年4月1日「横浜型地域貢献企業」に認定され「最上位認定」を取得いたしました。



認定証



認定証授与

- 令和2年7月2日「横浜型地域貢献企業最上位認定」を更新しました。
- 令和4年1月24日「よこはまグッドバランス賞」を更新しました。
- 令和4年3月25日「横浜健康経営認証クラスAA」を更新しました。

■ CSR方針について

CSR（企業の社会責任）とその認識に伴う当該関係活動の実施については、対象企業の業種や営業形態により多様な考え方があると思いますが、当然ながら何れの企業にも該当する必要条件は潤沢な経営資源の継続保持にあると思います。

しかしながら、より高次元の視点において、社会貢献活動や地元企業ならではの局地的経済貢献活動を実施するには、上記経営資源のみが十分条件では無かろうとも思います。

法人をもって仮にその社会的責任を果たすに必要な行為能力を備えていても、一方で当該責任を結果として実証するに足る意思能力に乏しければ、行為者と被行為者双方満足のいく結果をもたらすべくもなく、その逆もまた然るべき事です。

それでは、当社においてどのような姿勢でどんな事をするのがバランスの良いCSR実施となるのか。私は、記述のような意思能力と行為能力の不均衡を発生させないためにも、経営者及び経営に参画する者が意図するCSR方針＝社内のCSR活動方針であると直結的にならない様よく検討し、当社として、また同社員として過不足のない、且つその中でも地域並びに社員の日常生活に実施効果の高い活動事案を選定して、当該活動を実施するに際してはその可否を社員に問い掛け、定期的に見直しを図りながら改善をし継続性のある社会貢献活動をしていきたいと思っています。

以下の記載項目は、当社が所在地域を拠点として、当該地域にその貢献度ある営業活動をし、一方で当社と当社関係企業及びそれぞれの構成社員が、双方共安定した事業活動と社会生活を持続してゆく事を目的として堅固な企業を目指す為の基本三原則です。

- ① 当社及びその構成社員は、何事に対してもよく考え、各事案を行動に移す場合は、公的或いは私的活動を問わず結果にしっかりと反映させる様努力します。
これは、平成27年度横浜型地域貢献企業認定申請に際し、新たに作成し掲げました社訓「能く生きよう」という言葉により示される方針で、社内意識をこの言葉によりまずは行動意欲の啓発と、諸種の結果に自己責任主義の認識をする事から始まります。
- ② 当社の事業活動に使用する機械設備及び器具备品類は、作業効率の向上と省力化を直接的効果として、またその営業活動範囲拡充と安定を間接的効果としてもたらす事にとどまらず、地域においての様々な活動協力や災害対策などについてもその使用目的として考慮し充実を図ります。
- ③ 当社の事業活動において、通常の業務内容のみならず自社固有の技術や得意分野を常に探求しそこから創出される市場を安定的なものとして、年間の恒定的業務サイクルを確保することにより健全な経営資金の循環を促します。

六浦台団地 ベンチ等寄贈



レクリエーション(屋上菜園)



車両置場周囲の清掃

